

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	地域公共交通改善事業				財務会計上の事業名	地域公共交通改善事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	1	1	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目1 交通体系の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内の公共交通の現状を踏まえ、公共交通の課題を整理し、維持、改善に向けた計画の策定を検討する。
めざす姿(目標)	市内の公共交通の課題を整理し、維持、改善を図る。
事業の対象(誰を、何を)	既存公共交通や新たな先進技術の活用
事業の手段・方法(どのように)	池田市地域公共交通会議に諮り実施
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	5,513	2,497	3,000	地域公共交通計画	—	—	計画策定準備	策定
主な内訳								
委託料	4,536	2,497	3,000					
財源				☆成果の達成状況	A.順調に推移している			
国・府支出金	2,975			・上記「達成状況」選択の理由	計画策定に向け着実に準備を進めているため。			
地方債								
その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)			
うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)			
一般財源 C	2,538	2,497	3,000	・上記「有効性・効率性」選択の理由	国の補助金を活用しながら、実証実験を行い、のちに交通計画へ位置づけをすることで池田市としての交通体系を確立する。			
一般財源比率 C÷A	46.0%	100.0%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>人口減少の本格化、運転者不足の深刻化等に伴って、公共交通サービスの維持がますます困難な状況となっている中、地域の生活や産業を支える移動手段を確保することが重要と認識している。</p> <p>そこで、地方公共団体と交通事業者等が連携し、既存の公共交通サービスの改善や充実を進めていくことで、持続可能な地域公共交通を実現していくもの。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>従来の公共交通サービスの維持・改善や地域のきめ細かなニーズに対応できる制度設計。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>拡充</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 交通事業者や地域との連携を図り、MaaS等の最先端技術も取り入れながら、地域の移動ニーズにきめ細かく対応していく必要があるため事業の拡充と判断。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	バリアフリー化推進事業				財務会計上の事業名	バリアフリー化推進事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	1	2	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目1 交通体系の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	改正バリアフリー法に基づき、マスタープランと基本構想を策定し、具体的な整備を促す。
めざす姿(目標)	マスタープランと基本構想を策定し、バリアフリーのまちづくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	ソフト施策を含む市内のバリアフリー化整備促進
事業の手段・方法(どのように)	マスタープラン、基本構想の策定
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	・池田市交通バリアフリー基本構想

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	-	6,138	2,800		マスタープラン策定	-	素案策定	完了
主な内訳	委託料	-	6,138	2,800				
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金		2,329		・上記「達成状況」選択の理由	R2年度に向けてマスタープラン素案を策定したため。		
	地方債							
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C		3,809	2,800	・上記「有効性・効率性」選択の理由	国の補助金を活用しながら計画的に事業を進めている。			
一般財源比率 C÷A		62.1%	100.0%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>オリパラ東京大会を契機とした共生社会実現に向けた機運醸成等の社会情勢の変化とともに、建物を含めたバリアフリー化の推進や、中長期的にバリアフリー化を図るべき区域の再検討、身体障がい者だけでなく精神障がい者や妊産婦、外国人等の対象者の多様化などが求められるようになり、「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」の公布・施工など、近年で障がい者を取り巻く環境は大きく変化している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>区域再検討や対象者の多様化により市域全体のバリアフリーに関する方針の明確化やこれまでの対象や取り組みを広げる必要がある。 調査からわかった実態・意見から容易にできない面もあるため継続的に利用者・当事者の意見把握や行政、交通事業者、施設管理者、市民等で議論し相互理解を深め、再整理をすることが不可欠。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持 《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 R2 マスタープラン策定 R3 基本構想策定 R4 計画に基づき具体的整備の実施</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	バス利用促進対策事業				財務会計上の事業名	バス利用促進対策事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	1	3	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目1 交通体系の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市内運行バス路線における、低公害ノンステップバス導入に対して、導入経費の一部を助成する。
めざす姿(目標)	バス利用による高齢者・障がい者の社会参加の促進及び環境負荷の低減を図る。
事業の対象(誰を、何を)	バス事業者(阪急バス)
事業の手段・方法(どのように)	市内運行バス路線における、低公害ノンステップバス導入に対して、導入経費の一部を助成する。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)		
	(決算)	(決算)	(予算)							
事業費(千円) A	293	375	456	導入率	73.0%	61.50%	75.0%			
主な内訳	補助金	293	375							
☆成果の達成状況					A.順調に推移している					
財源	国・府支出金			☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	☆事業は効率的に実施できているか	A.有効的である(改善の余地がない) A.効率的である(改善の余地がない) 補助の実施により事業目的を達成することが可能となる。				
	地方債									
	その他( )									
	うち受益者負担 B									
	一般財源 C	293	375						456	
一般財源比率 C÷A	100.0%	100.0%	100.0%	☆上記「有効性・効率性」選択の理由						
受益者負担率 B÷A										

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>コロナ禍によるバス利用者減少に伴う交通事業者の経営不振により、導入率の低下が懸念される。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>国の目標達成年限が令和2年度であることから、本事業の継続について検討を要する。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 70%以上の導入率維持のため、本事業の継続について検討していく。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	市営駐車場管理事業				財務会計上の事業名	市営駐車場管理事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	1	4	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目1 交通体系の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	市営駐車場における車両の一時預かり、定期利用(月極)及び夜間利用の適切な管理を行い、利用を促進する。
めざす姿(目標)	違法駐車を防止し、道路交通の円滑化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	阪急池田駅及び駅周辺の商業施設利用者
事業の手段・方法(どのように)	市営駐車場での車両の一時預かり、定期利用(月極め)及び夜間利用
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	22,089	23,144	25,092	駐車場利用台数	30,140台/年	26876台/年	32,000台/年	
主な内訳	管理委託料	11,300	11,990	13,500				
	共益費	7,648	7,648	7,648				
	光熱水費	1,048	920	1,254				
☆成果の達成状況					C.判断できない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	コロナ禍の影響で利用台数減少。		
	地方債							
	その他(駐車場使用料)	15,168	14,623	14,100	☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	B.改善の余地がある		
	うち受益者負担 B	15,168	14,623	14,100	☆事業は効率的に実施できているか	B.改善の余地がある		
	一般財源 C	6,921	8,521	10,992	・上記「有効性・効率性」選択の理由	駐車場使用料で運営が賄えるよう収支比率の改善を要するため。		
一般財源比率 C÷A	31.3%	36.8%	43.8%					
受益者負担率 B÷A	68.7%	63.2%	56.2%					

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>池田駅周辺のコインパーキング等の民間駐車場が徐々に整備されてきているが、市営駐車場の利用率は比較的高い状況である。しかし、経営的には駐車場使用料で運営が賄えておらず適切な運営体制の検討を要する。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>事業運営が駐車場使用料で賄えていない。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 適切な運営体制の検討及び導入。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	違法駐車等防止事業				財務会計上の事業名	—
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	1	5	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目1 交通体系の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	違法駐車防止のため、駐車場への案内や、広報車・ビラ貼布による指導啓発及び警察署への取組み要請を行う。
めざす姿(目標)	違法駐車車両の削減による交通事故の誘発防止及び交通の円滑化を図る。
事業の対象(誰を、何を)	池田・石橋阪大前周辺の違法駐車車両及び迷惑駐車車両
事業の手段・方法(どのように)	駐車場の案内、広報車やビラ添付による誘導及び指導啓発、警察署への取組み要請
実施形態(直営/委託)	全部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A					指導台数	155台/年	172台/年	100台/年
主な内訳					車両撤去台数	0台/年	0台/年	0台/年
☆成果の達成状況					B.順調に推移していない			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	指導台数の増加。		
	地方債							
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	違法駐車対策として市が行えるのは啓発活動にとどまるため。			
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>全国的に大都市では附置義務駐車場を中心に、地方都市ではコインパーキングを中心に量的整備が進んでいるが違法駐車は減少しておらず、その対策として荷捌き用、駅送迎用等多様なニーズに対応した駐車施設の設置が求められている。この傾向は本市にも当てはまる内容である。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>池田駅利用者送迎等の短時間駐車。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持 警察署へ巡回強化を要請する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	池田・石橋駅周辺放置自転車等対策事業				財務会計上の事業名	放置自転車等対策事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	1	6	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目1 交通体系の整備				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	池田・石橋駅周辺において、指導員による放置自転車などの指導・啓発及び移動・保管・返還を行う。
めざす姿(目標)	交通事故誘発防止、交通の円滑化、歩行者通行空間の保持を図る。
事業の対象(誰を、何を)	池田・石橋阪大前駅周辺の自転車等(自転車・原動機付自転車)利用者
事業の手段・方法(どのように)	放置防止指導啓発、放置自転車等の移動保管及び返還
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)		
	(決算)	(決算)	(予算)							
事業費(千円) A	32,253	34,659	36,806	移動保管台数	2,011台/年	1,641台/年	1,800台/年			
主な内訳	委託料	31,368	33,216							
☆成果の達成状況					A.順調に推移している					
財源	国・府支出金			・上記「達成状況」選択の理由	移動保管台数の減少					
	地方債									
	その他(移動保管料)	3,516	3,259		☆目標達成のための有効な事業内容となっているか					
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか					
	一般財源 C	28,737	31,400		36,806	移動保管台数の減少は、現事業内容の継続的な積み重ねによる結果であるため。				
一般財源比率 C÷A	89.1%	90.6%	100.0%	・上記「有効性・効率性」選択の理由						
受益者負担率 B÷A										

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>本市の放置自転車は現業務内容の継続的实施により全国の傾向と同様に減少傾向があるが、一方で需要に合った駐輪場の設置が求められている。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>石橋阪大前駅周辺の需要に応じた適切な場所への駐輪場の設置と毎年の府下最低賃金上昇に伴う委託料の増。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>移動保管台数の減少傾向を維持するため、現業務内容を継続して実施。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	レンタサイクル利用促進事業				財務会計上の事業名	—
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	2	1	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目2モビリティ・マネジメントの推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	放置自転車対策の一環として、池田駅東・石橋駅中央自転車駐車場にてレンタサイクルを行う。
めざす姿(目標)	レンタサイクルの利用を促進し、池田・石橋両駅周辺の流動自転車数の減少を図る。
事業の対象(誰を、何を)	利用希望者
事業の手段・方法(どのように)	自転車駐車場整備センター管理運営の池田東、石橋中央自転車駐車場に自転車を配置し利用希望者に貸し出すもの。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	—

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値 (活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時 (H30年度)	実績 (R元年度)	目標値 (R4年度)	
	(決算)	(決算)	(予算)						
事業費(千円) A					利用台数	690台/年	1,049/年	800台/年	
主な内訳				☆成果の達成状況				A.順調に推移している	
	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由				利用台数が順調に推移しているため。
	地方債				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか				A.有効的である(改善の余地がない)
	その他( )				☆事業は効率的に実施できているか				A.効率的である(改善の余地がない)
	うち受益者負担 B				・上記「有効性・効率性」選択の理由				利用台数の推移から事業は効率的に実施されると判断できるため。
一般財源 C									
一般財源比率 C÷A									
受益者負担率 B÷A									

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>近年、シェアサイクルの需要の高まりを受け本市においても実証実験を行っているが、実験終了後引き続きシェアサイクルを事業として導入する場合には、本事業の継続について検討する必要がある。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>特に課題は無く、一定の効果は得たと認識している。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 シェアサイクル事業導入の場合、本事業の継続について検討を要する。</p>

行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	交通事業者連絡調整等事業				財務会計上の事業名	-
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	2	2	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目2モビリティ・マネジメントの推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	交通問題協議会を開催し、市内交通環境の諸問題を調査・研究する。
めざす姿(目標)	市内交通環境の改善を図る。
事業の対象(誰を、何を)	市民及び交通事業者
事業の手段・方法(どのように)	北摂地区の統一要請及び池田市の独自要請を交通事業者を受け対策の実施。
実施形態(直営/委託)	直営
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A					交通事故件数	334件/年	279件/年	250件/年
主な内訳					交通事故死者	2件/年	2件/年	0件/年
☆成果の達成状況					A.順調に推移している			
財源	国・府支出金				・上記「達成状況」選択の理由	交通事故件数が減少しているため。		
	地方債							
	その他( )				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.有効的である(改善の余地がない)		
	うち受益者負担 B				☆事業は効率的に実施できているか	A.効率的である(改善の余地がない)		
一般財源 C				・上記「有効性・効率性」選択の理由	交通事業者からの要請を受け毎年少しずつではあるが交通環境の改善を行っているため。			
一般財源比率 C÷A								
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>現時点においては、状況の変化等の懸念は無い。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>国道176号の渋滞など。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>現状維持</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 池田警察署と連携し信号の周期等可能な対策を行う。 また池田市独自でも交通量調査など予算要求を行い、国道176号の渋滞緩和を検討していく。</p>



行政評価シート(令和元年度実施事業)

1 事務事業名・総合計画の体系等

第3期実施計画の事業名	交通安全啓発事業				財務会計上の事業名	交通安全啓発事業
第3期実施計画の区分章/節(施策)/項目/事業番号	3	3	3	1	担当部署名	まちづくり・交通課
総合計画の体系	章	第3章人・環境に優しい安全・安心なまち				
	節(施策)	第3節安心して快適に移動できるまちづくり				
	項目	項目3交通安全の推進				

2 事業の概要

実施期間(第3期実施計画期間)	令和元年度～令和4年度
事業内容	全国交通安全運動にあわせて、運転者講習会や街頭での啓発キャンペーン、交通安全教室などを実施する。
めざす姿(目標)	交通安全意識及びマナーの向上を図り、安全で安心なまちづくりを推進する。
事業の対象(誰を、何を)	市民(保育園児・幼稚園児・小学校事業・高齢者・運転免許証所有者等)
事業の手段・方法(どのように)	全国交通安全運動、運転者講習会や街頭での啓発キャンペーン、交通安全教室の実施。
実施形態(直営/委託)	一部委託
関連計画	

3 事業費等

区分	H30年度	R元年度	R2年度	指標値(活動・成果)	指標の内容	実施計画策定時(H30年度)	実績(R元年度)	目標値(R4年度)
	(決算)	(決算)	(予算)					
事業費(千円) A	5,498	5,966	5,957	☆成果の達成状況	交通事故件数	334件/年	279件/年	250件/年
主な内訳	安全教育委託料	3,402	3,402		交通事故死者	2件/年	2件/年	0件/年
	消耗品費	1,739	1,791		1,957	交通安全教室	93回/年	87回/年
財源				☆目標達成のための有効な事業内容となっているか	A.順調に推移している	指標値にしている、交通事故件数が減少しているため。		
国・府支出金				☆事業は効率的に実施できているか	・上記「達成状況」選択の理由	A.有効的である(改善の余地がない)		
地方債				☆上記「有効性・効率性」選択の理由	A.効率的である(改善の余地がない)	事業の性質上、効率性を評価するのは困難。		
その他(基金繰入金)	1,544	1,481	1,676					
うち受益者負担 B								
一般財源 C	3,954	4,485	4,281					
一般財源比率 C÷A	71.9%	75.2%	71.9%					
受益者負担率 B÷A								

4 成果の達成状況、有効性・効率性評価

5 事業の現状と今後の見通し

<p>本事業をとりまく状況の変化(社会情勢・ステークホルダー・要望等)</p> <p>交通事故件数は道路交通法の改正等から社会全体的にも減少傾向にあると言える。本市においても継続的な交通安全啓発事業の推進により交通事故件数は減少している。しかし、数値は減少しているものの交通事故全体における高齢者の割合は依然として高い数値で推移している。引き続き幼児や子どもに対する交通安全教室は継続していくとともに、高齢者に対する安全啓発も今後より一層取り組んでいかなければならないものと認識している。</p>	
<p>目標達成に向けた課題</p> <p>事故件数は減少しているものの、死者数が発生している。また、安全教室を実施する際の人員不足も課題の一つである。</p>	<p>課題を踏まえた今後(令和3年度以降)の事業の方向性</p> <p>その他</p> <p>《上記方向性の理由・今後のスケジュール等》 委託料の見直しや安全教室時の体制など池田市、池田警察署、池田交通安全協会と協議し安全啓発の内容を検討していく。</p>